

## 教養教育・共通教育の質保証について

森田康夫（東北大学・教養教育院）

教養教育・共通教育について問題提起をさせて戴きます。

(1) 少子化にも拘わらず大学の新設が続いており、定員の充足に危機感を感じた大学は、10年余り前から学力を無視した学生集めに走っており、出願者のほぼ全員が合格する入学試験も珍しくありません。そのため、このような大学では大学入学時の学生の学力と勉学意欲が低下しています。

さて、学力が低い学生が増える中で、卒業する学生の質を保とうとすると、高校で学ぶべきことを補習で教える必要が出て来ます。また、入学時の学力低下の影響で、能力が下がった状態で専門教育を受けることとなりますから、今までに近い能力を付けて卒業されようとする、専門教育に今までより多くの時間を掛ける必要があります。そうすると、必要な時間をどのようにして確保するかが問題になりますが、一番犠牲にされる可能性が高いのが教養教育・共通教育（以下、単に教養教育とも書く）です。

そこで、教養教育の最低限の質保証として何を求めるかが問題となります。以前から話題になっている「市民性の涵養」がその候補となると思いますが、それで十分かを考える必要があると思います。

(2) 日本には、単科大学や、理系の学問又は文系の学問に偏った大学が多く存在しますが、そのような大学では専門とする学部・学科がない学問分野の教養教育は、非常勤講師に依存する可能性が高くなります。

非常勤講師には、(a) 学生が質問する時間が取れなかったり、(b) 成績に不満があっても学生がその理由を問うことが難しかったりといった根本的な問題がありますが、その他にも講師の質やシラバス（教育内容）などが不適當なものとなる可能性があります。しかし、その大学にその分野が分る教員がいないと、講師の質やシラバス等の問題を見落とす可能性が高くなります。そこで、教養教育・共通教育の質保証として、「単科大学や学問分野が偏った大学での教養教育に対して何を求めるか」というのが第2の問題です。

教養教育はある程度非常勤講師に依らざるを得ないという点は理解できても、授業の質を管理できる教員がいらないのは重大な問題だと思います。「その分野に見識がある他大学の教員を非常勤の職員として雇い、授業の質の管理などに当たって貰う」などの対策も考えられますが、そのことを書くと、それだけで十分と誤解される虞もあります。

(3) 私は、上の様なことには無関係な上位の大学では、できるだけ広い範囲の学問を教養教育として学んで欲しいと思います。しかし、提言の書き方によっては、不必要な縛りをかける可能性があります。

例えば、教養学部がある東京大学では色々な授業があり、「市民性の涵養」を目的にした授業が無くても、結果的に大半の学生は市民としての十分な能力をつけて卒業して行くと思います。

最低限の質保証を行うために、上位の大学に不必要な負担を掛けることにならないよう注意して欲しいと思います。

最後に、教養教育・共通教育を離れて質保証全体に対する意見を述べたいと思います。

日本では、高度成長期には大学入学歴に基づく人事管理が行われ、企業は大学に潜在能力の高い人を選び出す役割を求め、大学教育の内容については多くを求めませんでした。私は「企業に必要な能力は入社後の研修で身に付けさせるから、(自由に教えることができる)色のつかない学生を送って欲しい」と言う話をよく聞きました。極論すると、大学の仕事は資質の高い人を選び出し、〇〇大学卒というラベルを付けて卒業させることでした。しかし、企業が研修に割く余裕を減らし、雇用が流動化し、以前の様な人事管理はできなくなりました。「大学は学生を教育し、社会で必要となる能力を付けて卒業させる義務がある」というのが私達の共通認識だと思います。しかし世の中には「大学に入学できさえすれば良い職につける」と誤解している人が大勢います。

大学教育を受けるためには、授業料と生活費が必要になる他、高卒で就職した人に比べると収入が減り、これらを合わせると1年に400万円位のコストが掛かります。その他にも、大学には国や地方公共団体から補助金が出ており、東北大学の場合には運営費交付金を学生数で割ると、260万円位になります。この様に大学教育は、個人にとっても社会にとっても高額な投資であり、それに見合う能力を学生に与えることが大学に求められます。

私は、上位3分の1程度の大学はコストに見合う能力を学生に付けさせて卒業させていると思いますが、コストに見合う能力を付与できずに学生を卒業させている大学も多数ある様に思います。

学術会議は日本の学術の世界を代表する組織です。大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会やその分科会の委員の殆どは上位3分の1の大学の教員であると思いますが、残りの大学のことに目をつぶって宜しいのでしょうか？父兄の多くは「この大学に入学させれば良い職が得られる」と考えて大学に子弟を入学させるとしていますが、本人と父兄の認識不足に便乗している大学を放置して良いのでしょうか？